



10月29日（木）栗山地区北学田 荻野一彦さん圃場



10月19日（月）由仁地区本三川 吉江敏明さん圃場

主な内容

- 農協法公布記念日に当たって
- 米穀乾燥調製施設フル稼働
- 大豆収穫・調製開始
- 種子馬鈴しょの共選ピーク
- もぎたて市で新米が好評
- 各地区の作業風景
- 可愛いマスコット登場
- ATM休止のご案内

...etc

～大豆の収穫作業開始～

大豆の収穫作業が10月中旬より始まりしました。今年大豆の作付けは栗山・由仁地区合計で583haとなっており、低温や日照不足により一部では莖疫病などが発生し登熟がやや遅れた圃場もあるものの、収量に関しては概ね平年並みと予想されています。



北海道農業協同組合
中央会 会長
飛田 稔章

農協法公布記念日にあたって

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され62年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性和併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと金融危機、食料需給のひっ迫、地球温暖化・環境問題等が深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。

国内的には市場原理の名のもとに行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっています。

私たちは「第25回JA北海道大会」において、「共に創る北海道農業と新時代」をテーマに、組合員とともに多くの国民の信頼と支持を得て新たな時代に積極果敢に挑戦するJAを目指すことを決議し、実践しております。また、本年は「第26回JA北海道大会」を開き、「協同の力で築くあすの“食”をささえる北海道農業」をテーマに、組合員に基軸を置き、北海道農業・JAが抱える様々な課題の打開と地域と消費者に対して果たすべき役割を踏まえ、新たな基本方針を策定することとしています。

今後ともWTO農業交渉、景気低迷等厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を発揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

米穀乾燥調製施設・農産物検査場・倉庫フル稼働

各部から職員応援体制で一致団結

平成21年度産米の出荷が進むなか、職員による施設支援が9月28日(月)に、倉庫支援が9月30日から始まっています。

栗山地区富士の米麦乾燥調製施設、由仁営農センター内の米賣館と下見検査室、JA管内3か所の倉庫に販売部以外の職員が交代で駆けつけ、それぞれリフトの操縦、施設出荷予約の入力作業、倉庫での30kg袋の倉入などの作業の応援を行っています。

また、両地区の農産物検査場でも民間検査員の職員が交代で玄米の検査を行っています。



生産資材部 古賀職員

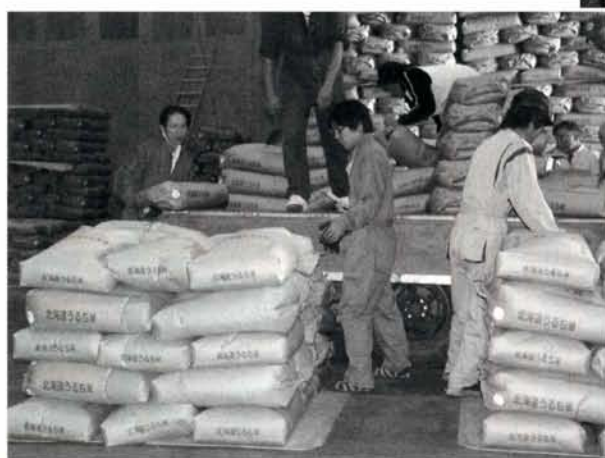


経営相談課 蝦名係長

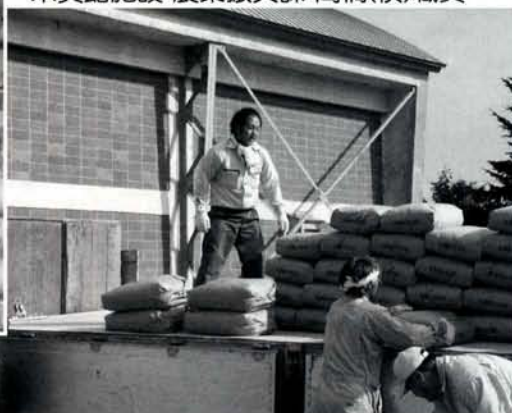
富士米麦乾燥調製施設



米賣館施設 農業振興課 高橋(慎)職員



生産資材部・八巻部長 共済課・松田職員
栗山中央倉庫



由仁土地改良センター出向・稲毛職員
由仁三川倉庫

～平成21年度米穀受入状況～

10月20日現在

品 種	出荷契約数量	出荷実績	うち高品位	出荷率	高品位率
きらら397	136,675俵	48,124.5俵	6,656.0俵	44.0%	13.8%
ななつぼし	83,162俵	34,831.0俵	9,535.0俵	55.8%	27.4%
そ の 他	49,545俵	9,642.0俵	—	19.5%	—
計	269,382俵	92,597.5俵	17,724.5俵	44.4%	20.2%

種子馬鈴しよ共選がピーク

全国一の生産地が本格始動

種子馬鈴しよの共選が栗山地区では9月18日、由仁地区では10月1日より始まりました。

J Aそらち南管内ではニシユタカがおよそ56 ha、男しやくが55 ha、キタアカリが41 ha、メークインが40 haなど10種類以上の品種が計274 ha栽培されており、その面積は全国一を誇ります。

また、移出量（道外への出荷量）でも合併以前から旧J Aくりやまは長年全国一となっていて、合併後の移出量はさらに他のJ Aを突き放しており、まさにJ Aそらち南の基幹作物の一つです。

規格ごとに選別された種子馬鈴しよは注文によってダンボールや紙袋に梱包され、主に道外へ出荷されています。栗山地区の共選開始については当J Aホームページのブログ記事でも取り上げていますので、是非ご覧下さい。



コンテナに入った原料が出番を待ちます（栗山地区馬鈴薯集出荷貯蔵センター）



規格等の説明を受ける様子（由仁地区ポテト館）

ブログ記事のアドレス

http://ja-sorachiminami.or.jp/blog/archive/2009_09/000077.php

大豆調製施設稼働

晴天のうちに収穫作業

平成21年産大豆の受入れ・調製作業が栗山・由仁両地区とも10月26日に始まりました。

今年大豆は栗山地区で268 ha、由仁地区で315 ha作付けされており、低温や日照不足により登熟は遅れたものの収量はほぼ平年並みと予想されています。

当日集荷された大豆は早速ホッパーから粗選機、比重選別機、粒型選別機、クリーナーなどの調製ラインを通過し、製品が次々と出来上がっていました。

大豆の調整は栗山地区では種子大豆（ユキホマレ）から開始し、種子大豆の後に一般大豆に入る予定で、一方由仁地区では一般大豆（ユキシブカ）から開始し、一般大豆の後に種子大豆に移る予定です。

また、栗山地区では1日におよそ20 t、由仁地区では1日におよそ18 tを調整する計画で、12月下旬まで続きます。



栗山地区大豆共同調製施設



由仁地区豆類調製施設

もぎたて市で新米が大好評

減農薬米生産組合がPR活動

生産者が朝採りした農産物を直売する、『もぎたて市』が10月15・16日の両日、新札幌のサンピアザで実施され、大勢の買い物客が詰め掛けました。

今回のもぎたて市では当JA減農薬米生産組合の役員も交代で参加して、販売ブースにのぼりを掲げ、お揃いのハッピを着て会場を訪れた人に盛んに声を掛けて『ななつぼし』や『おぼろづき』の平成21年産の農薬節減米をPRしました。

実際に新米を試食した人々からは「今年は不作だと聞いていたけれど味は美味しい。」と好評を得ることが出来ました。

また、お米の袋に新たに「みなみちゃん」という可愛らしいマスコットがプリントされ、初お目見えとなりました。

減農薬米生産組合の皆さんも「今後もこのような消費者の声を聞くことが出来る機会に積極的に参加していきたい。」と語っていました。



新しいお米の袋が初披露



お客さんに説明する篠田理事

～ 生産資材部からのお知らせ ～

日
胆
空
知
石
狩
地区

農業機械早期予約展示会

特典1

予約
割引

早期予約価格にて購入することができます!!

2.5~6.0%

特典2

そば・うどん
無料コーナー

特典3

アンケートにお答え頂いた
ご来場者の方に
粗品進呈!!
お子様にはお菓子をプレゼント

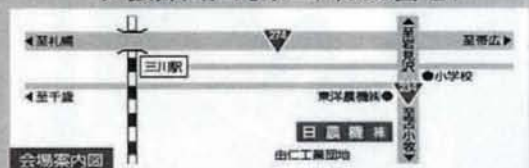
特典4

ご成約頂いたお客様へ
成約記念品
進呈!!

とき 2009年11月

18日 AM 10:00 ~ PM 3:00
19日 AM 10:00 ~ PM 2:00

ところ 日農機(株)三川営業所
夕張郡由仁町本三川683番地1



同時開催

■ 部品、副資材展示即売会

※仕様・オプションにより価格が変わりますのでご確認ください。
※改良等により予告なく仕様を変更する場合があります。

※機種はほんの一例です。
詳しくは農協・掲載各社窓口まで
お問い合わせ下さい。

農協

ホクレン

ＪＡ本所避難訓練実施

万が一の火災発生に備え

職員の消防避難訓練が10月13日にＪＡ本所で実施されました。

2階より出火したと想定し、消防署への通報や全館への速やかな連絡、迅速な避難など、万が一の事態に備え訓練を行いました。

また、職員が屋外に避難した後には消火器を用いた消火訓練も実施され、4人の職員が実際に消火器を使用して消火の手順を確認しました。

本格的な冬の到来を控え、日ごとに空気が乾燥していく時期に実施された避難訓練と消火訓練によって、職員は日頃からの防火意識を強くしました。



火に消火剤を噴射する共済課市川係長

南空知のＪＡ青年部員が集結

青年部南部スポーツ大会開催

空知農協青年部南部ブロック親睦スポーツ大会が10月18日に栗山町スポーツセンターで開催されました。

この大会は南空知8ＪＡの青年部がスポーツを通じて親睦を深めようと毎年行われており、当ＪＡからもＡ・Ｂ２チームが参加してミニバレーに汗を流しました。

試合ではＡチームが予選リーグを突破したものの、決勝トーナメントの1回戦で敗退してしまいました。また、Ｂチームも健闘及ばず予選リーグを突破することが出来ませんでした。

惜しくも残念な結果に終わりましたが、青年部員の皆さんは来年以降の上位進出を誓っていました。



必死にジャンプしてナイスアタック！

キャリア学習職業体験

由仁中学生就業体験

10月7・8日の両日、由仁中学校の生徒が各部署や組合員宅にそれぞれ配属されインターンシップ（就業体験学習）が行われました。

この研修は、就業体験を通して、職業に対する興味・関心を高めさせ、将来の進路選択に役立つため、働くことの意義や喜び、働く人々への感謝の心、謝意生活におけるマナーなどを学ぶことを目的としています。

今回、実習にいられた生徒は、2年生の9人。各部門の実習や生産者宅での農家実習において、戸惑いながらも積極的に取り組んでいました。



花き生産者方で実習する生徒の皆さん

各地区の作業風景



カボチャ受入れ10月7日・由仁地区野菜集出荷施設
『ほっこり133』などが10月10日までに約
480ト出荷されました。



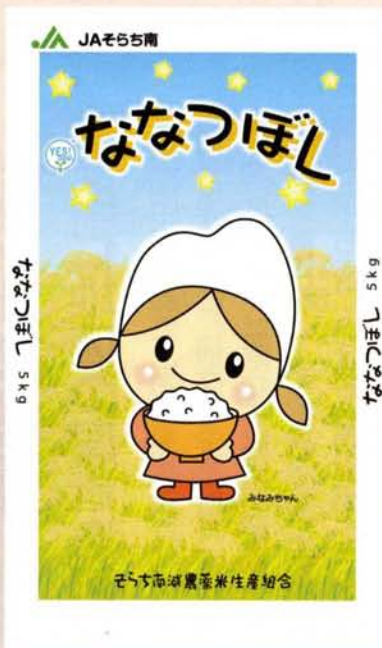
カボチャ受入10月14日・玉葱集出荷貯蔵庫
『栗マロン』などが10月末までに約101ト
出荷されました。



ビート収穫・10月8日(木) 緑丘橋場吉春さん
栗山地区緑丘で5.7ha栽培しています。写真
撮影日に収穫を始めました。



ビート収穫・10月8日(木) 伏見宗像政則さん
由仁地区伏見で1.7ha栽培しています。写真
撮影日に収穫を始めました。



新しいマスコット「みなみちゃん」

これまでのお米の袋とは一味違う、可愛らしく親しみやすいデザインになっているので、この「みなみちゃん」とともにJAそらち南の名前も浸透して欲しいものです。

現在、この「みなみちゃん」は平成21年産ななつぼしの2kg袋と5kg袋にプリントされていて、Aコープや直売所の店頭などで既に販売を開始しています。

左の写真は今年誕生した減農薬米生産組合のマスケットで「みなみちゃん」といいます。
デザインしてくれたのは夕張郡在住のイラストレーター「ともべ あり」さんです。アナログからデジタルまで多種多様なタッチでイラストやキャラクター作成などを手掛け、幅広い分野で活躍されています。

そらち南産のお米をPR

新キャラクターが誕生

さっぽろオータムフェスト を鮮やかに彩る

花き生産組合が出展

9月18日から札幌市大通公園で開催された『さっぽろオータムフェスト2009』の中で9月26・27日に札幌市大通り4丁目で開催された『産直花いちば』に南空知花き生産連合会からも花きが展示・販売されました。

会場ではトルコギキョウやユリなどの花々が展示され、色彩豊かな光景に足を止めて花を見る人も多く、JAそらち南産の花を各地から訪れた観光客に知ってもらった絶好の機会になりました。

また、フラワーアレンジメントのコーナーも設けられ、プロの妙技が道行く人の関心を集めました。



当JAの色とりどりの花をPRする生産者の皆さん

今年最後のGB大会

年金友の会由仁支部で開催

JAそらち南年金友の会由仁支部のゲートボール大会が10月15日に由仁町東三川グラウンドで開催されました。

当日は、秋が深まり肌寒い天候だったものの、組合長の挨拶、選手宣誓などの後に参加選手が自治区毎に全15チームに分かれ、全3面のコートではつらつと寒さを吹き飛ばすような熱い試合が繰り広げられました。実際にプレーしている人達はもちろん、試合を間近で見ていた人達も大いに楽しんだようでした。

熱戦の結果、山柵Cチームが見事優勝を果たし、今年最後のゲートボール大会が幕を閉じました。



寒さを吹き飛ばす白熱した試合の様子

青年部屑米集荷を実施

由仁地区の屑米を集荷

青年部由仁支部による屑米集荷が10月4日から毎週日曜日に由仁地区で実施されました。

由仁地区では、以前から屑米の農協一元集荷を目的に、青年部による集荷が毎年実施されており、今年も由仁地区各地の屑米を三川出張所の倉庫に搬入しました。

組合員皆様のご協力の結果、今年も多くの屑米を集荷することが出来ました。

来年以降も実施する予定となっておりますので、より一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。



屑米を搬入する様子（写真提供：青年部）

期待の「ゆめぴりか」極端な品薄

今秋デビューした道産ブランドの新品種『ゆめぴりか』について、最終的な出荷量が冷夏による品質低下から、基準品（精米蛋白6.8%以下）の生産が少量となり、当初予定の約1万3千トンの約6%の約800トンにとどまるとの見通しとなりました。

『ゆめぴりか』の品質基準については、『北海道米の新たなブランド形成協議会』における1年以上に及ぶ議論により『蛋白6.8%以下』を決定し、道内・首都圏における食味官能試験により高い食味水準を確認した上で『品質基準』を満たしたものを『ゆめぴりか』として流通することとしており、全日空の国際線ファーストクラスの機内食向けを確保した結果、一般消費者向けの販売は終了してしまいました。

品質面で消費者の期待を裏切らない決断がされた『ゆめぴりか』だが10日の発売時には5㍑2,800円超の高価格で販売した小売店も・・・。

ホクレンは、基準から外れた約9千2百トンを道産の別の品種と混ぜるブレンド米や、外食産業で扱う業務用米に回す方針で、来年の作付面積は、今年の2倍の6千㍏にひろげ供給不足を少しでも防ぐ方針です。



10月いっぱいでの今年の販売が終了した「ゆめぴりか」

ATMサービス等の休止のお知らせ

来年を予定しております全国統一システムの更改に伴い、ATM・JAネットバンク等のサービスを下記の内容と日程で休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、休止期間中はコンビニ等でも現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

2009.11.21(土)～22(日)

ATMサービス等、休止のお知らせ。

休止の対象	JAバンクのATM	JAネットバンクサービス	JAキャッシュカードによるお取引	コンビニ等のATM	デビットカードサービス
-------	-----------	--------------	------------------	-----------	-------------

JAによってお取扱いが異なる場合があります。詳しくはJA窓口・ホームページ等でご確認ください。



JAバンク

第10回理事会報告

日時 平成21年10月23日(金)
午後4時00分より第10回理事会
が開催され、原案通り承認され
ました。

【報告事項】

農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 土地賃貸借契約の締結について
議案第2号 農協懇談会の開催について
議案第3号 役員報酬審議委員会委員の推
薦について
議案第4号 公庫資金について
議案第5号 次期JASTEM移行におけ
る危機管理計画及び窓口業務
継続策の制定について
議案第6号 大口先に対する資金の貸付に
ついて
議案第7号 青年部海外農業視察研修につ
いて
議案第8号 賦課金の徴収について

11月の行事

2〜8日 青年部海外農業視察
(イギリス・フランス)
11日 南空知JA女性部
歴代部長会
17日 麦・豆類生産技術講習会
(由仁町古山集落センター)
19日 第11回理事会
20日 JA北海道大会
30〜11月3日 地区別懇談会

11月の売り出し予定 Aコープ

10〜11日…ダイナマイト2DAY
13〜14日…Aコープ週末感謝祭
17〜18日…88円均一
20〜21日…Aコープお買得市
24〜25日…得の市
27〜28日…月末大市

A-COOP 由仁店・三川店
○三川店…毎週日曜日休み

組合員の動き

▽正組合員戸数	▽正組合員数	△正組合員数	△正組合員数
962戸	519名	4名	1名
519名	596名	42名	2名
40名	923名	2名	2名
40名	923名	2名	2名

★おくやみ申し上げます。
(9月30日現在)

亡くなった方 年令 住所
高畑キヨ子 94才 栗山町富土
谷内津奈子 83才 栗山町桜山
北野 雅雄 58才 栗山町湯地
前田 ヨイ 73才 由仁町東三川
安達 ヨイ 103才 由仁町古山
※月号のおくやみに掲載した水上さん
の住所が富士となつていました。訂正
し、北字田とした。訂正してあげま
す。申し上げます。

地区別営農懇談会のお知らせ

平成21年度農協地区別懇談会を11月
30日〜12月3日に実施します。
各地区の日程等の詳細につきましては、
後日ご案内させていただきます。
組合員の皆様におかれましては年末
に向け何かと忙しい時期とは存じま
すが、万障お繰り合わせの上ご出席
くださいますよう、何卒よろしくお願い
申し上げます。

編集後記

めつきり冷え込みが厳しくなり、そろそろ初雪
がいつ降るのか気になる
ようになつてきました。
ついこの前に秋になつ
たと思つていましたが、
もう冬の到来を心配しな
ければならない時の流れ
の速さに驚かされます。
10月はゆめびりかの品
薄が大きな話題になりま
した。これまでの北海道
米の常識を覆す良食味米
として収穫前からテレビ
CMなどで盛んに消費者
にアピールしてきただけ
にも関わらず、全体の販売
量が8百トン程度の見込
みとなり早々と販売終了
となつてしまいました。
札幌市内の販売店では店
頭の品が瞬く間に売切れ
てしまうなど関心の高
さが覗えただけに非常に
残念な思いが心に残ります。
生産者にとつても消費
者にとつてもデビユーと
しては不本意な結果とな
りましたが、来年こそは
一人でも多くの人にゆめ
びりかを味わって欲しい
ものです。



そらち南 くみあいだより

2009 11月号 Vol. 10

■発行 2009. 11. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷